

令和元年の火災・救急・救助概況について（速報）

令和元年中の津市内における火災・救急・救助概況の速報は、下記のとおりでした。
(令和元中の数値は速報値となります。)

令和2年1月20日

津市消防本部

記

1 火災（担当：予防課／電話059-254-0356）

令和元年中に市内で発生した火災は115件で、そのうち住宅火災は27件でした。また、火災による死者は4人で、住宅火災による死者は3人でした。

火災原因については、全体では「たき火」、「放火の疑い」、「たばこ、こんろ（同件数）」の順に多く、住宅火災では、「たばこ」、が最も多く、続いて「こんろ、配線器具（同件数）」でした。

このことから、たき火からの延焼や、寝たばこ、こんろの消し忘れなど、少し注意すれば防げる火災を起こさないよう、火災予防に努め、住宅火災での逃げ遅れによる死傷者を無くすために、住宅用火災警報器の設置及び適正な維持管理をしましょう。

(1) 火災概況

▲は減を示す

区 分		令和元年	平成30年	増減
火災件数合計（件）		115	135	▲20
火災 種別 (件)	建 物 火 災	54	54	0
	（内）住宅火災	27	33	▲6
	林 野 火 災	6	5	1
	車 両 火 災	10	11	▲1
	その他の火災	45	65	▲20
死 者（人）		4	5	▲1
（内）住宅火災		3	3	0
負 傷 者（人）		10	11	▲1

2 救急（担当：消防救急課救急担当／電話059-254-1600）

令和元年中の市内における救急出動件数は15,899件で、前年と比較して546件の減少となりました。

事故種別で見ると、例年同様、急病が10,100件と最も多く、次いで一般負傷の2,590件、交通の1,161件の順となっています。前年と比較すると出動件数は減少したものの、過去10年を見ると救急出動件数は全体的に増加傾向にあります。

消防本部としても救急搬送体制の充実・強化に取り組んでいますが、救急車の適正利用にもご理解とご協力をお願いします。

救急車を要請するか迷った場合には、三重県救急医療情報センター（059-229-1199）や津市救急・健康相談ダイヤル（0120-840-299）に相談して下さい。

(1) 救急概況

▲は減を示す

区 分	令和元年	平成30年	増減
出動件数（件）	15,899	16,445	▲546
搬送件数（件）	14,482	14,934	▲452
不搬送件数（件）	1,417	1,511	▲94
搬送人員（人）	14,607	15,078	▲471

(2) 救急種別件数

（単位：件） ▲は減を示す

種 別	令和元年	平成30年	増減
火 災	12	13	▲1
自然災害	3	13	▲10
水 難	14	10	4
交 通	1,161	1,325	▲164
労働災害	153	146	7
運動競技	77	81	▲4
一般負傷	2,590	2,537	53
加 害	52	67	▲15
自損行為	102	173	▲71
急 病	10,100	10,430	▲330
そ の 他	1,635	1,650	▲15
合 計	15,899	16,445	▲546

3 救助（担当：消防救急課消防救助担当／電話059-254-1601）

令和元年中の市内における救助出動件数は187件で、前年に比べ49件増加しました。

救助出動の原因で最も多かったのが交通事故の82件で全体の43パーセントを占め、過去数年、原因のワースト1位です。

また、近年増加傾向の建物等による事故は53件発生しています。その多くは、高齢者が建物内に居るが外からの呼びかけに応答がないというものでした。

(1) 救助概況

▲は減を示す

区 分	令和元年	平成30年	増減
出動件数（件）	187	138	49
活動件数（件）	112	93	19
救助人員（人）	116	96	20

(2) 救助種別件数

（単位：件） ▲は減を示す

種 別	令和元年	平成30年	増減
火 災	1	2	▲1
交通事故	82	71	11
水難事故	17	8	9
風水害等自然事故	0	0	0
機械による事故	3	3	0
建物等による事故	53	30	23
ガス及び酸欠事故	0	1	▲1
破裂事故	0	0	0
その他の事故	31	23	8
(内) 山岳	11	3	8
合 計	187	138	49